

報道関係者各位

— 川崎市市民ミュージアム イベント情報 —

先人の知恵に学ぶ！「古代の火おこし」体験

～日ごろ当たり前に使っている「火」の大切さを学びながら、歴史を身近に感じよう～

川崎市市民ミュージアムは、5月中の土・日・祝日に、古代の手法である「舞錐（まいぎり）式」という手法で実際に火を起こす体験イベント「古代の火おこしに挑戦！ ～君も今日から火おこし名人～」を開催します。

家庭でも屋外でも、スイッチ一つで簡単に火が使える現代。しかしながら、古代、私たちの祖先は自ら道具をつくり、互いの知恵を絞って貴重な火を手に入れていました。今回の企画では、古代の手法と同じ「舞錐（まいぎり）式」という手法を用いて、実際に自分で火を起こすことで、火起こしの大変さと日ごろ当たり前に使っている「火」の大切さを子どもたちに伝えます。また、そうした身近なテーマのもと、昔の人々の暮らしや道具を実体験することで、歴史により親しみを感じていただけます。

実際に火が起こるまでの所要時間は5分程度。子どもから大人まで、先人の深い知恵に触れながら、達成感も味わえるイベントです。

◆「古代の火おこしに挑戦！ ～君も今日から火おこし名人～」開催概要◆

【日時】5月中の土・日・祝日 各日13:00～14:00（体験時間は20分程度）

【会場】川崎市市民ミュージアム 中庭

【対象】小学生以上の方

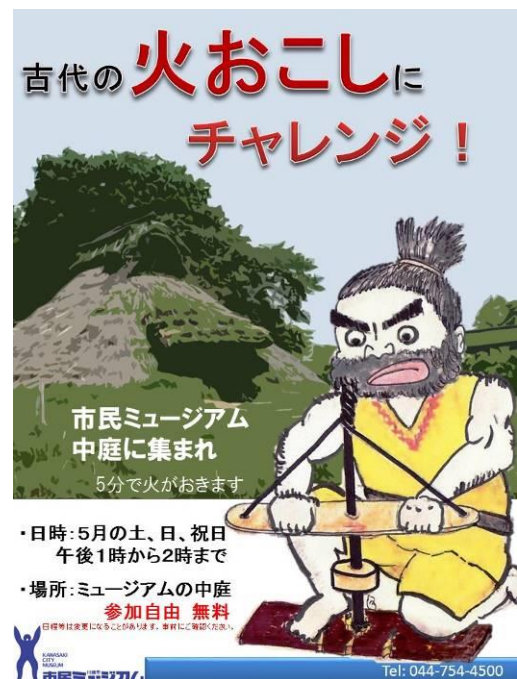
【料金】無料

【申込】当日随時

※開催時間・場所は天候状況により変更となる場合があります。



▲開催風景



▲チラシ

<博物館 常設展示のご案内>

川崎の成り立ちと歩みを考古、歴史、民俗などの豊富な資料で紹介しています。



◇民俗

稲作を中心とした生活が営まれてきた多摩川沿いの農村生活を紹介。年中行事や祭り、講のほか稲作の道具などを展示しています。

◇原始

市域の遺跡のなかでも旧石器時代から弥生時代までの出土品を展示。子母口貝塚から剥ぎ取った実際の貝層も見られます。

◇古代（古墳時代～平安時代）

様々な出土品のほか、市内にある馬絹古墳の石室を縮小した模型や、橘樹郡家推定地である伊勢山台遺跡周辺のジオラマなどを紹介。

◇中世・近世 1

当時川崎にあった荘園に関する文書を展示。供養のために立てられた石碑など信仰に関する資料もご覧いただけます。

◇近世 2

江戸時代の川崎とそこでの暮らしに関する資料を展示。山や海辺に暮らした人々の生活や、川崎宿の様子などをご覧いただけます。

◇近代・現代

川崎の近代以降について、臨海部の工業地化や埋立地の拡大、鉄道を軸とした交通網の発展、戦争中の市民生活、戦後の公害問題などの特徴的な出来事に関連資料とともに紹介しています。



<川崎市市民ミュージアム 施設概要>

多彩な表情を持つ都市、川崎。川崎市市民ミュージアムは、「都市と人間」という基本テーマを掲げて 1988 年 11 月に開館した博物館と美術館の複合文化施設です。



■住所

〒211-0052 神奈川県川崎市中原区等々力 1-2（等々力緑地内）

■開館時間

9:30～17:00（入館は 16:30 まで）

■休館日

月曜日（休日の場合は開館）、祝日の翌日（土日の場合は開館）、年末年始

■観覧料

企画展、アートギャラリー展は展覧会によって異なる。博物館展示室は無料。

* 障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者は、観覧無料。

* 20 名以上の団体でご利用いただく場合、割引有。

■アクセス／下記いずれもバス停「市民ミュージアム前」下車すぐ

- ・ 武蔵小杉駅（JR 南武線、横須賀線・湘南新宿ライン、東急東横線・目黒線）よりバスで約 10 分
- ・ 武蔵溝ノ口駅（JR 南武線）・ 溝ノ口駅（東急田園都市線・大井町線）よりバスで約 20 分
- ・ JR 川崎駅よりバスで約 40 分

【お問い合わせ、取材のお申込み、画像使用に関するご要望は下記までご連絡ください】

川崎市市民ミュージアム（指定管理者：アクティオ・東急コミュニティー共同事業体）

営業・広報担当／鋒山（ほこやま）・坂下・石澤

TEL: 044-754-4500 FAX: 044-754-4533 MAIL: pr_kcm@kawasaki-museum.com

HP: <http://www.kawasaki-museum.jp/>